

規程類の訂正に伴う超勤を支払え！

ダイヤ改正に合わせて、大幅な規程とマニュアルが訂正された。内容は車掌二人乗務という車掌削減に伴うもので、規程類を直すためには一時間以上要しているだろう。乗務員は規程、マニュアルに則って乗務するのであって、規程を知らずに乗務はできない。事故やミスが発生した時に「私は規程類の訂正をする時間がなかったから・・・」でお咎めなしとはならないはずだ。私たちはこれまでも規程の訂正は業務に必要なことであり、労働時間として超勤を出すべきだと主張してきた。規程を直すことは仕事をこなすうえで前提条件だからだ。頑なに労働時間と認めない会社の姿勢とは何なのか？訂正に伴う時間はコストカットの領域ではないはずだ。言ってしまうと会社は「安全を軽視している」と表明するのと同じだ！ところで営業・指導科の助役は勤務時間内で規程類の訂正をしているのではないのか？なぜ乗務員だけが労働外時間での訂正を求められるのか。

過日、JR西日本は労基署から労働時間管理についての是正勧告を受け、パソコンを使用する社員を対象にログオン、オフの履歴から19億9000万円の残業代未払い分を支払うことを決定した。労働に伴う時間は超勤とすることは当たり前なのだ。まさか「規程の訂正に伴う時間は基本給に含まれているので裁量労働制です」って言わないよね(笑い) **会社は規程類の訂正に伴う超勤を支払え！！**